

## 中学生の居場所づくり事業について

### 1. 居場所設置の目的

「中学校において空き教室などを利用して、様々な問題を抱える生徒の話を聞き不登校の未然防止や学習支援など、地域力を活用した居場所づくり。」(協定より)

区内には、中高生センタージャンプが2か所あるが、居場所の数としては足りないこと、生徒が授業終わりに気軽に立ち寄れるサードプレイスを目指して、“にしまる一む”を開設。

### 2. にしまる一むの特徴・実績

- ①形 態：公民連携による校内設置型居場所のモデル事業
- ②設 置：西池袋中学校
- ③事業主体：豊島区
- ④運 営：NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク  
※ (公財) セーブ・ザ・チルドレン子ども・地域おうえん  
ファンド助成
- ⑤寄 付：イケア 家具一式
- ⑥運営日時：毎週火曜日。一部：13:30～15:00、二部：15:30～17:45
- ⑦開催実績：13回、延べ471人(うち不登校の子3人)

### 3. 設置の効果

多くの中学生から普段聞けない悩みや希望を聞くことができた。

また、中学生支援の1つの柱である学習支援について、「校内別室指導支援員」を配置(教育センター事業)し、相互に紹介するなどの連携している。

#### 4. 沿革

- ・ 3月28日 「中学生の居場所づくりモデル事業に関する協定書」締結
- ・ 4月25日 仮オープン
- ・ 5月 西池袋中学校職員会議、学運協において説明
- ・ 5月23日 オープン（セレモニー実施）
- ・ 8月 イケアから家具寄贈
- ・ 8月29日 第1回にしまるーむ応援団ミーティング
- ・ 10月 週2回実施へ（火曜と金曜）

#### 5. 今後の予定

- ・ 教育委員会で報告
- ↓
- ・ 2校目のモデル校選定
- ↓
- ・ 効果検証（報告書）
- ↓
- ・ 第四回定例会で報告

- 一定の成果が出ている
- 国（こども家庭庁）も期待
- 「区立中の校内設置型」
- 区長の強い要望